

教育実習生は授業実践の何に課題を見出し、 どのように改善を見通すのか

—社会系教科目の教育実習生3名へのインタビュー調査を通して—

学籍番号	219317
氏名	三木 壮太
主指導教員	峯 明秀
副指導教員	鈴木 真由子

1. 問題意識

筆者は学部生時代に2度、教育実習に参加した。その経験を振り返り、「教育実習の場において授業を改善していく能力を身に付けておくことは教師として現場に出るうえで欠かせないのではないか」という問題意識を抱くようになった。

では、社会系教科目における教育実習生は自身の授業実践の何に課題を見出し、その改善をどのように見通しているのか。これを明らかにすることによって、これから教育実習生の指導をされる実習校の先生方に貢献できるのではないか。そのような問題意識が本研究の原点である。

2. 研究主題

本研究の目的は、教育実習生へのインタビュー調査をもとに、社会系教科目における授業実践で見出した課題とその改善の見通しを実証的に明らかにすることである。そして、実習生自身の授業観をもとにした授業を構成させるための指導の方法を仮説的に示すことである。

近年、社会科教育学研究において教師志望学生に焦点をあてた教師教育研究の蓄積は厚く、その研究の多くは教師志望学生の「社会科観」や「授業観」に焦点を当てており、教員養成の段階で自己の授業観を相対化し、再構成していく必要があることが示唆されている。教育実習に焦点を当てた研究についても実証的研究が行われており、その中でも社会科教育実習において実習生のつまずきに焦点を当てた研究として、児島他(2016)は、教育実習生が教材研究の不足や学習内容を確定できないといった教材研究の段階でつまずいていることを明らかにしている。また粟谷(2017)は実習生が実習を通して直面した困難について、①教材研究に関すること②生徒の様子を知らない事③授業中に関すること④指導者に関することなどを挙げている。いずれも授業実践における具体や組織に関するつまずきを事例的に明らかにしている一方で、いずれも授業観が分析の視点に含まれていない。また、これらは実習終了後に行われる調査にもとづいており、教育実習中における授

業実践の改善の動的な実態を実証的に明らかにする研究とはなっていない。以上のような問題点から、これまでの研究では教育実習生の授業実践においてそれぞれの授業観に応じた授業改善の視点を示すことができない。したがって授業観から導かれる授業改善の分析視点をもとに教育実習生の実習中における実態を明らかにする必要がある。では、実習生は授業実践の何に課題を見出し、どのように改善を見通すのか、指導教員は、実習生が行いたい授業を構成させるために、どのような指導を行うべきなのだろうか。

3. 本研究の対象と方法

本研究では、3名の教育実習生を対象として、以下の2段階で研究を行う。

第1段階では、インタビュー調査によって、対象者の授業観や授業構想の意図、改善の過程を捉えるためのデータを収集する。なお、実習生の授業参与、インタビュー調査などの研究活動については承諾をいただいている。第2段階では、収集したデータの分析を行う。分析の視点については峯(2011)の「社会科授業改善の方法論改革研究」に依拠し、①各実習生が期待する資質形成を明らかにし、授業を類型化する。②各授業の構成とその意図、自身の授業を評価する観点、また実践から見出した課題とその改善の見通しについて明らかにする。これらを踏まえ、各授業類型から導かれる改善のあり方を手がかりに実習生の改善の齟齬・不一致を評価し、論理整合的な改善とその指導方法を示す。

4. 本研究の意義と特質

本研究の意義と特質は、以下の2点にまとめることができる。

第一に、社会系教科目の教育実習生が授業実践において見出した課題と、その改善の見通しを明らかにしたことである。教育実習生の授業実践における課題やつまずきを捉えたこれまでの研究では、実習生がどのような授業を理想としていたかということや、社会科授業固有の視点から捉えられる課題は明らかにされておらず、教育実習における社会科固有の授業改善を促す指導の方法を示すことができなかった。しかし、本研究において、教育実習生が自身の理想とする授業を構成するにあたって見出した課題と、その改善の見通しについての実態を描き出すことができた。

第二に、教育実習において、実習生が行いたい授業を構成させる力を身に付けさせるための実習指導の方法を仮説的に示したことである。本研究で示した指導のあり方は①教育実習生の授業をその具体、授業の組織、授業観でそれぞれ区別して客観的に見取り、それを踏まえた振り返りの指導を行うこと②授業観にもとづく論理整合的な改善を可能とする社会科固有の授業改善の方法と、指導技術の課題を明らかにする授業実践の臨床的反省研究を併用することの2点である。この2つの方法により、実習生に行いたい授業を構成させるための授業改善の指導を行うことができるのでないだろうか。